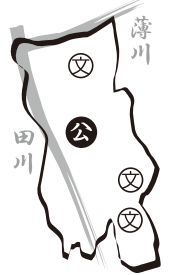


館報

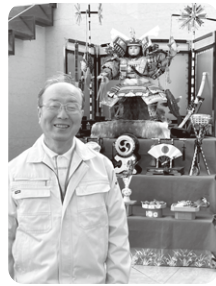
庄内



庄内地区	
令和5年5月1日現在人口	
世帯数	7,223戸
男	7,288人
女	7,334人
合計	14,622人

発行 庄内地区公民館
(ゆめひろば庄内)
電話 24-1811
FAX 24-1812

庄内地区 新任者からのあいさつ



庄内地区公民館長
梶山 三男

地区公民館館長に選出され着任した梶山です。長らく町会長や連合会長など担当しておりましたが、館長一年生です。皆様の期待にお答えできるような微力ながら一生懸命取り組みます。

いろいろやってみたい事はありますが、今は館長業務のイロハや市役所の仕事のやり方に早くなれるよう、また関係する方々のお名前やお顔を覚えるため時間を費やしています。

4月早々から始まったコミュニティスクール事業の並柳小の一年生下校支援や給食支援など待ったなしです。ボランティアとして長く参加していただいているご婦人諸姉に頭が下がりました。またピカピカの一年生の下校付き添いをしていて、気をつかっ

とはありますが元気な子どもと接する喜び大です。学校と地域の方々のつなぎ役を継続します。

新任館長のための研修会に出席しています。そこで南木曾の妻籠公民館は県内初にして全国初の公民館だと学びました。

また長野県は公民館設置数3800館、ダントツ全国一位だそうです。自らが暮らす地域を良くしよう、困りごとを皆で解決する「場」として公民館が存在してききました。先人たちが生活改善のため地域を豊かにするために、交流し議論し行動して来た場所が公民館です。大切にします。活用する皆さんをもっと大切にしします。

日頃心掛けているマインドと心意気を最後に：「人皆人に忍びざるの心有り」と前に書きました。

古稀にして、館長を拝命し追加「日残りに昏るるに未だ遠し」。



筑摩小学校校長
五明 佳代

4月から筑摩小学校校長としてお世話になっております。校舎の3階から眺める弘法山の桜が進級・進学を祝っているかのようにみごと春だったことを記憶しています。また、御柱祭を準備中の地域からは、祭りを通して地域の人々が繋がり、学校も支えていただいていることを感じています。

新型コロナウイルス感染症もいよいよ収束へ向かいつつあり、学校も職員一同、志新たにによりよい教育活動実現に向けスタートしました。これまでも地域の皆様には学校を支えていただきましたが、今年はず子どもたちが地域に出て、「チャレンジ」(今年度の活動目標の合言葉)する場面を作っ

ていけたらと考えます。どうぞ今後ともよろしくお願いたします。



丸の内消防署 庄内出張所長
池内 正典

本年4月の異動により、丸の内消防署庄内出張所長に着任しました池内です。異動前は塩尻消防署に勤務していました。救急救命士として丸の内消防署、消防署及び芳川消防署での勤務経験はありますが、庄内出張所での勤務は初めてになります。

今年度、庄内出張所の異動者は私を含め3名で、昨年度から継続して勤務する職員がほとんどです。

まもなく新型コロナウイルスも感染法上の分類が変わり、ようやく普段通りの生活が戻ってこようと思っています。

昨年度は庄内所管内で大きな火災が発生しました。火災予防に力を注ぐとともに、皆様と一緒に地域の安心、安全のため防災訓練等をはじめ災害活動及び救急活動に職員一同全力で取り組んでまいります。



中央南包括支援センター
保健師 川村 明美

この度、中央南包括支援センターに保健師として勤務することになりました川村明美です。

こちらでの仕事は初めてで不安はありますが、庄内地区の行事やひろば活動などを通して地域の皆様とたくさん交流をもてたらと思います。そして、庄内地区のことをより多く知り、地域の皆様が安心して生活できるように少しでもお手伝いができればと考えています。

また、私自身も皆様から多くのことを学び、成長してゆけたらと思います。

まずは、皆様と仲良くされるように様々な所へ参加させていただきます。その際には是非、お気軽に声をかけていただけたらと思います。これからどうぞよろしくお願いいたします。



地区の町会を知ろう!

出川町

R5.5.1現在
世帯数:466
人口:938人
〔男:467人
女:471人〕

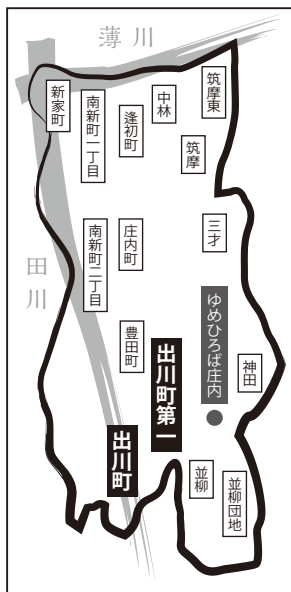
出川町の今昔

昭和30年代までの出川町は、商業の町として栄えていました。しかし、昭和40年代に入ると地域スパーの展開が始まり、食品関係のお店が無くなりその後大型店の松本への進出により、ほとんどのお店が姿を消しました。

現在は、市営住宅、マンション、民間アパートが混在して自営の方が少なくなっております。

平成の町名変更で市は、出川三丁目の提示をされましたが、昔より出川町という名称で過ごしてきたので、当時の町会役員の皆様方に市との交渉をして頂き「出川町」という住所を現在でも使うことが出来ています。

町内に多賀神社と大慈堂の2つの文化財があり、多賀神社の秋の例大祭は昨年3年ぶりに行われ大いに賑わいました。長寿を願い寿命餅の販売でも有名です。



大型ショッピングセンター「コモ庄内」が完成し、周辺には会社・住宅等が建てられ、人口の増加や日

(出川町町会長 百瀬康一)

出川町の公民館は昔は道沿いには駐在所があり、奥は出川保育園でした。そこを公民館として使っていました。駐在所と保育園が移転すると建て替えを熱望する声が高まり、昭和52年に完成いたしました。

当時は団体の活動や趣味のサークル活動も盛んで、文化祭や敬老会での発表を目指して楽しく活動をしていました。大正琴のサークルもありましたね、日本舞踊や書道も。そんなサークルも後継者がいなくて段々と消えていき、文化祭も中止になり、今では既存の団体の会議に使われるだけになっております。

高齢化や人口の減少で昔のような活動は難しいと思いますが、町会や各種団体の活動を維持して、町内がみんな顔見知りになればいいですね。

いんですね。これからコロナも減少して活動が再開されます。以前のような活動に戻る事を祈るだけです。

(出川町町内公民館長 樋口哲朗)

出川町第一

R5.5.1現在
世帯数:391
人口:760人
〔男:385人
女:375人〕

出川町第一町会の紹介

善光寺街道に沿って住宅が立ち並び、その周辺はのどかな田園風景が広がる町会でした。

道沿いには明治天皇が北国御巡幸の際、御小休所とされた松本市重要文化財に指定された中田家住宅があります。

一方平成22年には利便性の優れた地区にありながら、四方を既存市街地に囲まれた田園地帯となっていた所に

常生活においても便利になり、賑やかな町会になってきました。

町会活動は出川町町会との合同開催もありますが、独自には納涼祭を実施しており、会員皆様の最大のふれあいの場となっております。昨年はコロナ禍のため、感染対策、規模を縮小しての開催になりましたが、好評を得たところです。

本年度は町会委員と共に協力し、活気がある「温かい町会」を目指して行きたいと思っております。

(出川町第一町会長 原田知治)

出川町第一町会自治会活動の紹介

出川町町会と隣接し公民館を共有しながら活動しています。

防犯パトロールや敬老会、ふれあい会食会、しめ縄作り講習会などは合同で行っています。

出川町第一町会は田川と泉川を境に出川町一丁目、出川町二丁目、出川町三丁目と広い地域にあります。

庄内地区公民館、コモ庄内商店街、庄内公園、西地区大型店舗に隣接し、情報・

運動・買い物(コンビニエンス)にも恵まれ、交通面でも便利な地域です。

お盆の頃には、庄内地区公民館にて納涼祭を行い、賑わいます。

しかし、ここ数年は新型コロナウイルスの影響で、行事はことごとく中止になりました。各会議の慰労会も飲食不可のため、行うことができず、懇親を深めることができておりません。

現在の課題はマスクのない、お年寄りが安心出来る街づくりです。しめ縄作り講習会は、ベテラン講師により実施でき、年間行事で盛り上がりました。

わが町会は、お年寄りから、新しく越して来られた若い方、小さいお子さんがいらっしやいます。9月に行われる多賀神社例大祭は、地域一帯のお祭りで賑わい、ドリーム庄内秋の集いと共に、町会の交流を深めていきたいと思っております。

(出川町第一町会町内公民館長 竹内國雄)

